

平成 25 年度岡山大学入学式及び大学院入学式 式辞

本日、ここにご来賓ならびにご家族のご臨席をいただき、学部学生 2,405 名、大学院学生 1,053 名、総計 3,458 名の新入生の皆さんが一同に集まり、平成 25 年度岡山大学入学式を行いますことは、本学にとりまして、大変喜ばしいことであります。

皆さんはこの岡山大学を学ぶ場として選び、努力の末に、大きな難関を乗り越えて今日の日を迎えられました。岡山大学を代表しまして、心からのお祝いと、歓迎の意を表したいと思えます。

岡山大学は旧制第六高等学校、岡山医科大学などの優れた伝統を基盤に、昭和 24 年、新制大学として統合設立され、今年で創立 64 年、医学部としては 143 年の歴史をもつ、全国でも有数の大学であります。現在、岡山大学は 11 学部、7 大学院研究科、2 つの附置研究施設、大学病院、附属学校を備え、本日、皆さんを迎えて、約 14,000 人の学部生と大学院生、留学生約 500 人、さらに 2,600 人の教職員を加え、2 万人近い人々が、知的創造にとり組む、日本屈指の総合大学に発展いたしました。

そして、岡山大学は、広大なる緑豊かなキャンパスを、岡山という地勢的にも大きな利を持つ、風光明媚、好天に恵まれた晴れの国、日本でも有数の安全・安心の地である岡山の市街地に立地し、それ自体が宝のような贈り物であります。私たちの大学がそうした地域の中心に在るということを思い、皆さんと私たちが「美しい学都」の担い手としての自覚と責務をもって、今日から、その創成に参加していただきたいと思えます。

今、岡山大学では大きなビジョンを掲げ、大学自身、大きく変革をしている真ただ中でもあります。真に国際的な研究・教育拠点としての「美しい学都」を目指し、市民にも開かれた美しいキャンパスに、世界中から人が集まり、岡山の地にあって地域のためにつくす大学、しかも世界に輝き放つ、誇りある大学を作り上げていきます。

岡山大学の掲げる大学理念は「高度な知の創成と的確な知の継承」であります。私たちは、知の創成、知の継承、つまり研究・教育活動を通して、人類社会の発展に寄与する使命を持っております。

皆さんは、今日、岡山大学を選び、この理念に参画したからには、高い使命感を持って、それぞれの目指す学問、知の創造に寄与し、少しでも人類社会の

発展、平和に貢献する気構えを持っていただきたいと思います。

私たち人類社会は、有史以来、たゆまぬ知的創造を重ね、それを継承し、その努力により多くの問題を解決してきました。人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかねばなりません。それが今日、入学を果たされた皆さんの責務であります。

皆さんも理解されていますように、今、日本は社会的、政治的に経済的に大きな転換期であり、従来常識はもはや通用せず、根底から変革を成し遂げなくてはならない時にきております。

さらに、一昨年3月11日、東日本大震災とそれに伴う大津波、福島原発事故により日本は未曾有の震災を被りました。まさに数百年に一度というべき天災に遭遇し、二年を経過した今も、被災者の生活再建と被災地の復興を支援すると同時に、私たちは心をつなげて、新たな国のかたちというものを作り上げていく覚悟を固める必要があります。

とくに次世代の日本を担うべく皆さんが社会から求められている事は、世界を見据えた、世界に通用する人材であります。世界に通用する人材とは、単に英語が話せるということではありません。高い専門知識の獲得と同時に、人間力を創成する幅広い教養を身につけなくてはなりません。幅広い教養こそが、大きな人間をつくりだす基礎であります。決して教養教育をおろそかにしないでいただきたい。高い専門性は広い教養の上にしか立ち上がりません。

広い教養と高い専門性を獲得するのはあなた自身自身の努力であります。あなた自身が自分で考え、自分で選択し、自ら決断をして、内をむかず、世界を見渡し、大志を抱き、そして想像を超えたと言われるくらいの目標をかかげ、自分の好きなことに熱中していただきたい。その積み重ねが、年月を経て、想像の内となり、最後は目の前の現実となって現れる日が必ずやってきます。岡山大学は世界に扉を開いています。学生の時から、積極的に世界に身を置いてください。岡山大学は可能な限り、みなさんの世界化の手助けをいたします。

皆さんに与えられた時間はそれほど長くはありません。入学するまでのご苦労は重々承知しておりますが、深く広い教養を身につける第一歩を今日から始めなくてはなりません。皆さんに課せられた、これからの学生生活は、決して甘いものではありません。厳しい学問の世界が待っていると覚悟をしてください。それだけ社会は皆さんの将来に期待しております。

最後に、

岡山大学は共に生きる、「共生」という言葉も大学の理念に掲げています。皆さんは大学生活を通じて一生にわたる同胞を作ることが肝要です。大学時代に

得た友人は一生の宝となります。よき仲間を得るには、まず自分自身が魅力ある人間にならなくてはなりません。魅力ある人間とは、人を引きつける人間とは何かを是非考えていただきたいと思います。

岡山大学では、この後、来賓のご祝辞をいただく小長様を会長に、全学同窓会をさらに発展させて、岡山大学 Alumni という組織を設立する計画でいます。Alumni とはラテン語で“養う、育てる”といった意味ですが、さらに深い意味を持ち、この岡山大学で知の営み、育てられた人々の集合体であります。学部も役職も立場も年齢も関係ありません。岡山大学を共有し、知を営み、知を育てられた人々の集団であります。今日、みなさんは、まさにこの岡山大学 Alumni の一員として参加いただきました。

私を含め、すべての岡山大学教職員は、今日ここに、新たに仲間に加わった新入生の皆さんとともに、この岡山大学を限りなく美しい大学、岡山の地にあって世界に輝き、魅力にあふれた総合大学に作り上げる決意であります。

私は岡山大学の卒業生であり、岡山大学で学んだことをこの上なく誇りに思っています。今日ここに、その誇りを共有するべく集まった皆さんに、こころから期待をこめてエールを送り、お祝いの言葉としたいと思います。

おめでとうございます。

平成 25 年 4 月 8 日

国立大学法人岡山大学長 森 田 潔